

地域連携推進会議 議事録

特定非営利活動法人ゆいねっと新居浜

グループホームα

開催日時 2026年2月28日(土) 13:30 ~ 15:00

参加者

所 属	氏 名	所 属	氏 名
理事長	明智 恭平	新居浜市役所 地域福祉課	村上 美香
グループホームα 管理者	富永 守	北内中 民生員	渡邊 時子
グループホームα サービス管理責任者	寺田 裕子	グループホームα 入居者ご家族	大西 美晴
藤田社会保険労務士事務所 代表	藤田 拓也	グループホームα 入居者	加藤 慎也
新居浜市社会福祉協議会	鴻上 大介		

敬称略

【議題】

- ① 法人の組織及び概要
- ② 共同生活援助の概要について
- ③ 支援内容
 - ・ 令和7年度の事業計画の基本方針、重点目標等
 - ・ 職員体制
 - ・ 入居者の支援区分
 - ・ 日中活動や就労の状況
 - ・ 地域行事への参加の状況
 - ・ 近隣との連携状況
- ④ 入居者の日常の様子
- ⑤ 経営状況
- ⑥ 業務継続計画（BCP）の策定状況
- ⑦ 入居者の権利擁護
 - ・ 虐待防止の取り組み（虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会）
 - ・ 事故・ヒヤリハットの報告

【議事概要】

- ① グループホームα 明智より説明を行った
法人理念について
基本方針について
重点目標について
組織と利用者状況について
支援内容・苦情解決・個人情報の保護について

人権擁護・虐待防止について

防災計画・職員研修計画・年間行事計画について

令和7年度事業計画書に則り説明を行う。（別紙参照）

② グループホームα寺田より説明を行った

グループホームαが共同生活援助事業の中の介護サービス包括型に当たることを説明。（生活にかかわる全般の介助、家事全判の介助、日常生活などの相談及び助言を行ったり、各関係機関との連携を行う、通院同行など）（別紙参照）

③ 令和7年度の事業計画の基本方針、重点目標等については①の項目で説明実施

以下グループホームα富永より説明を行った

職員体制、入居者の支援区分、日中活動や就労の状況、地域行事への参加状況、近隣との連携状況について説明。（別紙参照）

④ 入居者の日常の様子について説明（別紙参照）

⑤ グループホームα明智より説明を行った

経営状況について、事業会計活動予算案を用いて説明実施。

2025年9月～2026年1月までの非収益損益表を用いて現在の経営状況について説明。（別紙参照）

⑥ グループホームα富永より説明を行った

BCP策定状況について説明。

災害時、感染症でクラスターが発生した時の対応について説明。昨年3月にクラスターが発生した際はゾーニングを行い、感染拡大を防いだ例を説明。

感染症でクラスターが発生した場合は基本的に自宅に帰るが、αから帰る場所がない方についてはαに残りゾーニングで対処を行った。

⑦ グループホームα寺田より説明

身体拘束適正化委員会全大会の資料を用い、身体拘束を考える上での事業所の趣旨を説明。

虐待防止についても同様に虐待防止委員会の資料を用い、虐待案件を含めたヒヤリハットの説明を行った。実際に虐待があったわけではなく、支援が上手くいかないことによるヒヤリハットも虐待案件として捉えている旨の説明を行った。

また、頓服を服薬する際や混乱している利用者さんから身を守るための行動も身体拘束案件としてヒヤリハットを提出している旨説明。

○見学

グループホームα内（男子棟・女子棟）見学

○意見交換

・新居浜市役所地域福祉課 村上様

令和6年度の法改正により、共同生活援助（グループホーム）に対して地域連携推進会議の開催が義務付けられました。私もこの会議に参加するのは初めてで。なるべく地域の方やご家族さん、入居者さんに入ってもらって開かれた施設にしていこう。地

域でみんなが暮らしやすくなるようにということでこういう会議が開かれるようになった。日中は地域というよりは別の所（福祉作業所など）に行かれていて、週末は家に帰られている？段々ここで暮らすことが多くなっていくと思うので、地域の方に知ってもらっておくことが大事になってくる。

・新居浜市社会福祉協議会 鴻上様

今回地域連携推進会議に出席させて頂くのは初めてで施設の取り組みは良いなと思いました。地域の方に理解してもらうことは大事だと思った。活動の中で移動訓練に行かれているとのことでしたが、その施設の方と交流したりはしていますか？土・日帰られる利用者さんがいらっしゃるということで帰られない方の金銭管理についてどうなっているのか？質問という形になります。

⇒移動訓練については施設の方との交流はしたことはありません。今後そういうことも考えていきたいと思っています。

金銭管理はご家族さんがご健在なのでご家族さんがされています。お小遣いの部分に関しては管理させてもらっています。ご家族さんが管理できなくなってきた時には成年後見制度を利用したり、社協さんをお願いしたりすることになると思います。

・北内中民生員 渡邊様

こういうのを知らない職種でたまたま民生員ということで会議に呼んでいただいた。こういう所というのが知れた。近所の人に「あそこなに？」と聞かれることが多かった。「障がいのある人のグループホームよ。」と答えていたが、施設のことがよくわかって良かった。

・入居者ご家族 大西様

普段から密に連絡を取ってくれている。親以上によく見てくれていて、親でも気づかないことも連絡してくれている。腰痛のことに対してもマッサージを受けれるように段取りをしてくれて感謝している。後見人の話もだけど、週末αで泊まることも考えていけないといけないと思っているけど、本人が家に帰りたがっている。αに居て欲しいと思うけど難しい。今後は土曜日でも日曜日でも利用できるように考えている。

・入居者 加藤様

日中デイケアに行っている。デイでは体のケアしてもらっている。

αでの暮らしはビシバシやっている子もいるけど大丈夫です。前は他害をしている子もいて怖かったけど今は大丈夫です。気持ちをいさえることが出来ずにちゃぶ台を返してしまいそう。その気を逸らすためにスタッフとゲームをしたり、携帯アプリのゲームをしている。

・藤田社会保険労務士事務所 藤田様

施設見学初めて。非常にたくさんの方をされている。本人もだと思いがご家族も安心されているように感じを受けた。務められている方の管理業務は大変だと感じた。

⇒利用者10名に対してスタッフ19名いる。個別に支援しているのでこれだけのスタッフが必要になってくる。伝達漏れ、忘れているなど多い。勤務形態が違う。朝と夕方スタッフが違っていることもあり、以上に連携の取りづらい勤務形態である。今後の問題としてマイナンバーの問題がある。コントロールをどうするのかを考えていけないといけない。

